

環境省/ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011

石原良純(俳優・気象予報士)、江守正多(気象学者)、黒谷友香(女優)

「ストップ！温暖化部門」審査員に決定

今年で13回目を迎える米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2011(SSFF & ASIA)」(代表:別所哲也)の「ストップ！温暖化部門」審査員として、石原良純氏、江守正多氏、黒谷友香氏が決定いたしました。同部門は、2008年度より実施しており、今年で4回目。CO2削減に向けた新たな国民運動「チャレンジ25 キャンペーン」(環境省)と連携し、映像を通じて深刻化する地球温暖化問題に警鐘をならすことを目的としています。

選ばれた審査員は、2005年に当映画祭プロデュースのもと製作したショートフィルム、『ザ・シークレットショウ』に俳優として出演し、気象予報士としても活躍する石原良純氏、気象学者として地球温暖化に関する著書を多数持つ江守正多氏、テレビ・映画など各方面で活躍し、環境問題にも関心を寄せる女優、黒谷友香氏、とバラエティに富む著名人が揃いました。

今年も、世界33カ国から282作品が集まり、その中から13作品を映画祭にて無料上映します。審査員によって選ばれる優秀賞(環境大臣賞)にはショートショート実行委員会より賞金として60万円が贈られます。また、昨年に引き続き、この部門の主旨に賛同するJ-WAVEからは、J-WAVE リスナー審査員(5名)によって選ばれる「J-WAVE アワード」が選出され、賞金50万円が贈られます。各賞の発表は、6月26日(日)に明治神宮会館で行われる授賞式にて行われます。

「ストップ！温暖化部門」の上映日程は、オフィシャルサイト(<http://www.shortshorts.org/2011/>)をご確認下さい。

■「チャレンジ25キャンペーン」とは？

これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から、よりCO₂削減に向けた運動へと生まれ変わり展開するものであり、オフィスや家庭などにおいて実践できるCO₂削減に向けた具体的な行動を「6つのチャレンジ」として提案し、その行動の実践を広く国民の皆様と呼びかける国民運動です。
<http://www.challenge25.go.jp/>



■審査員プロフィール

※五十音順、敬称略



■石原良純(俳優・気象予報士)

1962年生。慶応義塾大学経済学部卒業。1982年の松竹富士映画「凶弾」で映画デビュー。本作で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。以後、映画、舞台、テレビドラマ、バラエティ、CMで活躍するほか、ウェザー・キャスターとしても「FNNスーパーニュース」に出演中。官公庁・地方自治体のシンポジウムでの講演のほか、「環境ホンネ・サミット」など多数の科学情報番組にも出演。著書に「石原家の人びと」、「石原良純のこんなに楽しい気象予報士」などがある。趣味はマラソン。関心事項は環境問題。



■江守 正多(気象学者)

1970年、神奈川県に生まれる。1997年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に入所。「地球シミュレータ」の現場で研究を行うために2001年に地球フロンティア研究システムへ出向し、2004年に復職した後、温暖化リスク評価研究室長等を経て、2011年より現職につく。東京大学大気海洋研究所客員准教授を兼務。専門は気象学、特にコンピュータシミュレーションによる地球温暖化の将来予測。著書に「地球温暖化の予測は『正しい』か？—不確かな未来に科学が挑む」、共著書に「温暖化論のホンネ—『脅威論』と『懐疑論』を超えて」「気候大異変 地球シミュレータの警告」等がある。



■黒谷友香(女優)

大阪府生まれ。1995年、雑誌『mc Sister』のモデルとして活躍後、19歳で映画『BOXER JOE』のヒロイン役で女優業に進出。「魔界転生(03)」、「TANKA・短歌(06)」、「わたし出すわ(09)」など話題作に出演。現在は、『ハンチョウ〜神南署安積班〜シリーズ4』のレギュラー、そして「テレビでフランス語」ナビゲーターとして出演中。また、全国公開中の『手塚治虫のブッタ—赤い砂漠よ！美しく—』では、マリッカ姫の声を担当。Webマガジン『友香の読書日記』、『TOKYO HEADLINE〜友香の素〜』連載など幅広いジャンルで活動。趣味は乗馬、ガーデニングと読書。農園で野菜づくりもしている。



『流氷はいつやってくる？』

/ Tourism meltdown, Climate change causes drift ice lost』

(西倉めぐみ&Luis Patron / Japan / 6:39 / Documentary / 2009)

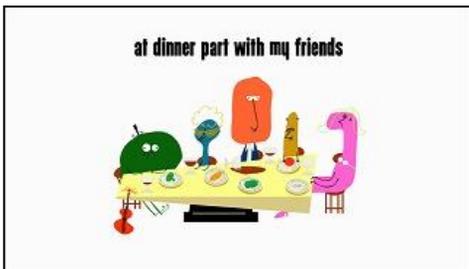
寒さが一段と厳しくなる二月、網走ではオホーツク海から流れてくる流氷を祝う祭りが行われる。毎年多くの観光客が流氷を目的に網走を訪れるが、今年は祭りの時期にも関わらず流氷はまだ接岸していない。観光客はわずかな望みをかけて、オーロラ号という砕氷船に搭乘する。果たして流氷を見る事ができるだろうか？



『セーブアース、セーブアス/Save Earth, Save Us』

(萬野達郎 / Japan/USA / 1:17 / Experimental / 2010)

いつもと変わらぬ朝のはずだった。ある老婆は日課であるコーヒーを飲む為、やかんに火をかける。その頃、大学の研究室ではピーカー内のカエルと低温で熱するという実験が行われていた…。



『地球温暖化の歌/Global Warming』

(Sheldon Lieberman & Igor Coric / Australia/Serbia / 1:50 / Animation / 2007)

ピピックさんは地球温暖化を信じません、なぜなら…



『気候という名の料理/Climate Dish』

(Peter Wedel / Germany / 1:08 / Experimental / 2010)

さぁみんなで遊ぼう、温暖化ごっこ！



『テクロポリス/TECLÓPOLIS』

(Javier Mrad / Argentina / 12:10 / Animation / 2009)

古雑誌が風で優しく揺れ動く。浜辺の波のように打ち寄せる敷物、木製テーブルの上をカメラが動き回る。しかし突然、文明という脅威が立ち上がる。それはプラスチック廃棄物に姿を変えて、はるか遠く離れた浜辺の安全ささえも脅かす。



『11度/11 Degrees』

(Anna Ewert / Scotland/Germany / 7:44 / Documentary / 2009)

気候変動とスキーヤーの減少に悩むスコットランドのスキーリゾートの苦闘を描いたドキュメンタリー。地形の変化と小さなコミュニティが直面する課題を描くと同時に、スキーリゾートを廃らせないために奮闘する人々の姿を描く。



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショートフィルムフェスティバル アジア」を「ショートショートフィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などのヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

会場: 表参道ヒルズ スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10表参道ヒルズ本館地下3F)
日程: 2011年6月16日(木)～19日(日)

会場: ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日程: 2011年6月22日(水)～26日(日)

会場: TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(オールナイト上映) (東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)
日程: 2011年6月17日(金)・18日(土)

会場: シネマート新宿(3D部門上映) (東京都新宿区新宿3-13-3 新宿文化ビル6・7F)
日程: 2011年6月17日(金)～24日(金)

会場: プリリア ショートショート シアター(横浜開催) (横浜市西区みなとみらい5-3-1フィルミー2F)
日程: 2011年6月18日(土)～26日(日)

※映画祭オフィシャルHPは5月初旬にオープン予定 (www.shortshorts.org/2011/)

※チケットは5月14日(土)より発売開始

※オープニングイベントは6月16日(木)、アワードセレモニーは6月26日(日)に行われます。

完全招待制のため、チケットは販売致しません。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

＜一般からのお問い合わせ＞

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア事務局
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

＜メディアからのお問い合わせ＞

株式会社プラップジャパン
担当: 持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp